

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年8月19日(2024.8.19)

【公開番号】特開2024-101628(P2024-101628A)

【公開日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【年通号数】公開公報(特許)2024-141

【出願番号】特願2023-5637(P2023-5637)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月7日(2024.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、遊技価値に関する表示を改良することを目的とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明の第1の実施態様に係る遊技機は、

30

遊技の進行に応じて遊技価値を付与可能な遊技機であって、

画像表示手段(例えば、画像表示手段72X)と、

セグメント表示器で構成され保有する遊技価値数を表示可能なクレジット表示手段(例えば、クレジットセグ14X)と、

を備え

前記画像表示手段は、

付与された遊技価値数を示すことが可能な特定画像(例えば、ペイ画像)を表示可能であり、

遊技価値の付与契機が発生したときに、前記特定画像を基本表示から当該付与契機に対応する表示に変化させる時間よりも短い時間で前記クレジット表示手段の表示を更新前の値から当該付与契機に応じた更新後の値にすることができる

40

ことを特徴とする。

また、前記画像表示手段は、

遊技価値の付与契機が発生した場合に前記特定画像の数値の更新時に変化途中の値を表示することが可能であり、

前記クレジット表示手段は、遊技価値の付与契機が発生した場合の数値の更新時に変化途中の値を表示しない

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この構成によれば、画像の方のセグと比べてゆっくりとすることで、数字の変化していく様子を遊技者に見やすく表現することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、遊技価値に関する表示を改良することができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行に応じて遊技価値を付与可能な遊技機であって、  
画像表示手段と、

セグメント表示器で構成され保有する遊技価値数を表示可能なクレジット表示手段と、  
を備え、

前記画像表示手段は、

付与された遊技価値数を示すことが可能な特定画像を表示可能であり、

遊技価値の付与契機が発生したときに、前記特定画像を基本表示から当該付与契機に対応する表示に変化させる時間よりも短い時間で前記クレジット表示手段の表示を更新前の値から当該付与契機に応じた更新後の値にすることができる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記画像表示手段は、

遊技価値の付与契機が発生した場合に前記特定画像の数値の更新時に変化途中の値を表示することが可能であり、

前記クレジット表示手段は、遊技価値の付与契機が発生した場合の数値の更新時に変化途中の値を表示しない

ことを特徴とする請求項1の遊技機。

10

20

30

40

50